

議 事 録

会 議 名	令和6年度 第3回寒川町生涯学習推進会議		
開 催 日 時	令和7年2月5日（水） 午後2時00分～午後3時		
開 催 場 所	寒川町役場 3階 議会第1会議室・第2会議室		
出席者名、 欠席者名 及び 傍聴者数	出席者：町田委員、齋藤委員、石川委員、吉田委員、中島委員、上田平委員、 仲田委員、加島委員 欠席者：吉野委員、滝沢委員 事務局：宮崎学び育成部長、岡野学び推進課長、佐野主査、早川主任主事 教育委員会：高橋教育次長、奥谷教育政策課長 傍聴者：なし		
議 題	(1) 「第3次寒川 学びプラン」（案）について (2) 「第2次寒川 学びプラン」令和5年度事業の評価について		
決 定 事 項	議事録承認委員の指名（齋藤会長及び中島副会長）		
公開又は 非公開の別	公 開	非公開の場合その 理由（一部非公開 の場合を含む）	
議事の経過	1 開会 岡野学び推進課長 2 あいさつ 宮崎学び育成部長 3 議事録承認委員の指名 承認委員は齋藤会長、中島副会長に決定 4 議題 (1) 「第3次寒川 学びプラン」（案）について（資料1・2） ・資料1・2により事務局から説明 【会長】委員の皆様からご質問等はございますか。 【委員】1つ修正を検討していただきたいところがあります。10ページ目、進捗状況の確認で、下から3行目のところですが、よろしいでしょうか。ここで「第2次寒川学びプランではD評価が0%にならなかったことから」と書いてあるのですが、読み進めていきますと、また「D評価0%を目指します」と書いてあります。最終的にD評価を0%という言葉の重複は避けたいので、ここを「第2次寒川学びプランではD評価の事業があったことから」としたいのです。連続して読みますけれども、下から3行目のところです。「第2次寒川学びプランではD評価の事業があったことから本計画期間の4年間で、A評価とB評価を合わせた割合85%以上・D評価0%を目指します」ということで、ゼロの重複を避けたいということですが、皆さんいかがでしょうか。 【会長】皆様、委員のご意見について、いかがでしょうか。 【委員】いいと思います。		

【委員】ありがとうございます。

【会長】では、そのように変えていただくという形でよろしいでしょうか。

【事務局】はい。ありがとうございます。

【会長】他に何かご意見はありますか。

【委員】最初に、このパブリックコメントの実施結果について意見が0件でしたという事務局からのお話がありましたけれども、私としては、閲覧した方々が問題ないと判断したと信じています。というのは、他のこういうパブリックコメントって、必ず何件か意見が出るのですよね。ということで、非常によくできた計画なのだと私は評価というか、信じています。私自身の思いですけれども、前計画「第2次寒川 学びプラン」を振り返ることがまず第3次の冒頭に書いてあります。それから、第3次に至るまでの過程がよく分かるような章立てになっています。ということで、さらに目標達成のための指標があり、さらにその達成基準が数値で明確になっているということで、私としてはすごくよい計画になったと思います。

【事務局】ありがとうございます。

【会長】他に何かございますか。それでは、これで質疑を打ち切ります。議題（1）については、これで終了といたします。

- (2) 「第2次寒川 学びプラン」令和5年度事業の評価について（資料3）
・資料3により事務局から説明

【会長】ただいまの説明に関しまして、委員の皆様、いかがでしょうか。評価（案）についてご意見のある方いらっしゃいますか。

【委員】その他の「評価として必要とする事業」というのが冒頭にありますがけれども、読み進めると、「評価として」という言葉は必要ないと思います。別にあるからといって問題はないですけど、分かりやすくするためには前置きを取った方が、くどくなくなくていいと思います。ということで「評価として」というのを取りますと、冒頭が「必要とする事業というのは」というところから入ります。全体を読みますと、「必要とする事業というのは必ずあり、それは開催することに意義があるので、事業目的は集客ではない。この判断基準を次年度あるいは第3次のときには、検討されることを望む」というのが評価になります。どうでしょうか、皆さん。

【会長】皆様いかがでしょうか。今の委員の内容で進めていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

【委員】これに補足して、私の思いだけお話をさせてください。

【会長】はい。では、お願いいたします。

【委員】せっかくこういう事業評価というのを報告として評価するわけですがけれども、それで終わらせてはやはりもったいないです。ということで、既に事務局で実施されていると思うのですが、まず、時系列で事業の年度別の評価、AからDまでを追ってみてはいかがでしょうか。各年度による特徴というのが出てくる、あるいは成功した、失敗したという事例の要因が分かるという気はいたします。ですから、これは単一年度に限らず、複数の関連事業で比較してみるのも面白いかもしれません。それから、1つは評価時の成果ですとか課題等がコメント欄にあります。そのことを、ただ単に事務局が集計するだけでなく、各事業、各担当課と共有できるような、そういうシステムというのができ

	ると、運営するときのノウハウですとか、思わぬ気づきというものがあるのかもしれませんが。ということで、私の思いはその２つですけども、事業評価から分析によって、生涯学習のこれから、推進会議、あるいは幹事会などで、今、私が言った２点の部分のところをうまく分析したり、あるいは深掘りしたりすることによって、幹事会とか推進会議の発展になるのかなと思ったものですから、発言させていただきました。 【会長】ありがとうございます。今、お話しされていた２点について、いかがでしょうか、事務局の皆さん。 【事務局】ご意見ありがとうございます。そうですね、今の２点については、課内でも共有を図った上で、改善を図っていきたいと思っております。 【会長】意見として検討いただくということで。 【事務局】そうですね。ありがとうございます。 【会長】よろしく願いいたします。他にございますか。これで質疑を打ち切り、議題の（２）についてはこれで終了といたします。事務局は、今後公表の手続をお願いいたします。 ５ その他 （１）寒川町教育振興基本計画との関係について（参考資料２） ・参考資料２により教育委員会から説明 ６ 閉会 岡野課長
配付資料	資料１ 「第３次寒川 学びプラン」 （案）パブリックコメント実施結果（案） 資料２ 「第３次寒川 学びプラン」 （案） 資料３ 「第２次寒川 学びプラン」令和５年度事業報告の評価（案） 参考資料１ 令和６年度第２回寒川町生涯学習推進会議議事録 参考資料２ 寒川町教育振興基本計画について（寒川町教育委員会）
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	・ 齋藤 真理子 ・ 中島 寛明 （令和７年３月１９日確定）